

令和元(2019)年度 第18期 事業計画書

事業名(通称)	事業概要・基本コンセプト	主要方針、当年具体策	活動予算(抄)
～子どものためのコミュニティ・スペース～ワークレッシュ (18期目) 「CS、保育、自主事業」 【実施場所】旧くみの木幼稚園保育室のうち一室 【開設日数】293日開設 【実施日時】月～土(日・祝休) 但し、依頼に応じて随時 【対象者】 利用会員80家庭(居住地、年齢等は不問)	「年齢・校区を問わない夜間までの地域の子どもの居場所づくり」 「公的資金を伴わない、行政サービスの行き届かない領域の子ども・子育て支援、それを通じたコミュニティの関係づくり」 *会員制&予約制の保育 *食事提供・送迎協力 *日・祝、19:01～翌9:59の時間外保育 *小学生以上(一時預かり事業の対象外)の利用 *出張保育(会議・研修・イベント時の保育) *地域イベントへの参加 *講師派遣	遊びが学び、暮らしが仕事 日月火水木金土に触れる毎日を ニーズの見えている家庭はもとより、一見困っていないがそうなたちも、それぞれに悩みや困難を抱えているもの。 「しんどいときは、SOS!」 助け合うのが当たり前」 (定款第3条【目的】意識より抜粋)の精神で、地域社会で自分たちが担うべき役割や力を自覚し、住民経営によるコミュニティ・スペースづくりを維持していく。 ①子どもたちの心にふれる保育を大切にする。 ②縁とつながりを力に、 <u>担い手の経験値を養う</u> 。 ③保育無償化の流れを注視しつつ、次の役割を見出す。	受取会費 利用会員年会費 400,000 受取寄付金 まつり等売上 375,000 事業収益 保育収入等 1,754,000 経常収益計 2,529,000 事業費 人件費 310,000 管理費 人件費 0 経常費用計 1,432,600 当期経常増減額 1,096,400
子育て拠点施設における一時預かり事業(7期目) 【実施場所】茱萸木6丁目985-1 ファンズガーデン(遊戯室)及び保育室のうち一室 【開設日数】273日開設 【実施日時】月～土:10時～19時 【対象】乳幼児(延べ2,120人)	<地域子育て支援拠点事業実施要綱> 「保護者の育児疲れの解消・急用の一時的なニーズに対応」 ●主なコース● *キッズ・ファンズ(対象2歳以上・月～土10:30～15:30) *ピイバ!(対象5歳以上・月～土10:30～16:30) *会員外の単発利用(乳幼児対象)(月～土10:00～19:00 1時間700円)	ワークレッシュの保育事業と同様の方針の下、核家族、専業主婦層を中心とした単発・不定期的な保育と共に、保護者の就労や都合による緊急の保育依頼のニーズに柔軟に対応 ●キッズ・ファンズからピイバ!へと切れ目のないつながりを継続するため、活動内容を利用者と共に企画する等、利用者の参画意識を高める。 ●新規のメンバーを繋ぎながら、異年齢の子どもたちが地域で育つ場として定着させていく。	事業収益 受取補助金 2,700,000 保育収入 3,449,000 経常収益計 6,149,000 事業費 人件費 6,599,000 管理費 人件費 0 経常費用計 6,925,000 当期経常増減額 -776,000
地域子育て支援拠点事業 大阪狭山市つどいの広場事業(15期目) ファンズガーデン 【実施場所】茱萸木6丁目985-1 【開設日数】273日開設 【実施日時】 月～土(土曜日は概ね月3回) 10時～16時 【対象】乳児・未就園児とその保護者、1日17組以上	<大阪狭山市地域子育て支援拠点事業実施基準> 「子育て中の親子の出会い・交流・学び・相談の場、異世代間交流」 旧くみの木幼稚園を拠点とした子育て広場(5分野)の運営 ①子育て親子の交流、つどいの場の提供 ②子育てに関する相談、援助の実施 ③地域の子育て関連情報の提供 ④子育て及び子育て支援に関する講習の実施 ⑤異世代間の交流機会の実施 ～たそがれ時のコミュニティ・スペース運営～おむすび村 軽食・学習・休息・遊びと交流の場・一次相談 毎月第4木曜 17時～20時(計12日) 要事前予約・出入りは自由・参加費無料(カンパ受付)	地域により一層開かれたひろば、市民が集い共に支え合える場の運営 相互にエンパワメントできる学びの場づくり 多様な子育て支援の可能性の追求 ●父親も参加しやすい居場所づくり →毎月1回イベントを実施 ●サークルルーム(さわらび)の活性化! →サークル運営のサポート、子育て世代以外の地域住民への周知活動 ●子育て世代の悩みや困りごとなどの情報収集からの講座運営 ●低年齢子ども向け企画の増加と充実 ●参加者の潜在的なニーズを引き出し引き受けられる関係づくり	受取助成金等 受取補助金 7,948,000 事業収益 講座等参加費収入 230,000 経常収益計 8,178,000 事業費 人件費 6,506,000 管理費 人件費 0 経常費用計 8,219,000 当期経常増減額 -41,000
障害児通所支援事業 児童発達支援・放課後等デイサービスフェイス (6期目) 「フェイス、放デイ、児童デイ」 【実施場所】茱萸木6丁目985-1 【開設日数】286日 【開設日時】 月～金 12時30分～18時30分 土・長期休暇中 10時～18時 【対象者】 障害のある児童22名(契約家庭数21) 1日10.5名	<児童福祉法に基づく指定障害児通所支援事業> 「利用する児童の身体及び精神・環境に応じて、日常生活における基本的動作や知識技能の習得、並びに集団生活に適応するための指導訓練等を効果的・継続的に提供し、生活能力の向上と地域社会との交流を図る。」 ・他者との信頼関係の形成 ・友達と過ごす心地よさや楽しさを味わう ・葛藤を調整し、主張し、折り合いをつける ・自己選択/自己決定	「衣食住に密着した暮らし」の体験を、仲間と共同で学ぶことを不変のテーマとしている。「比べる」を年間の主題とし、自分と人との違いを知って世界を拓き、ひとりひとりが自分や他人の価値や役割を獲得していく。芸術・体育・文化や社会活動を主眼にした外出・外食を取り入れる。あわせて、言語や時間にとらわれ過ぎないよう、心の対話に重きを置く。 家族や学校とは、行事や交流会等を通じて、信頼と支え合いの関係を保ち、深めていく。相談支援機関や学校はもとより近隣の事業所にも関係構築を働きかけ、支援の統一あるいは連携を図り、相互の協力体制を構築する。 「本人主体」「子育ての仕方支援」「地域の暮らし」を軸に、どのような状況においても親子の関係性や暮らしを常に応援できるよう、ひとりひとりの力量や観察眼を磨く。そのための、指導員間のスキルとノウハウの伝承。記録内容の一層の充実と情報共有、再確認。	受取寄付金 カンパ・買取り等 315,000 受取助成金等 0 事業収益 食事代収入等 740,600 事業収益 給付金事業収益 35,155,000 経常収益計 36,210,600 事業費 人件費 22,873,000 管理費 人件費 2,740,000 経常費用計 31,451,000 当期経常増減額 4,759,600
総務部本部事務局 「総務、管理運営部門、事務」 【開設日時】 平日:10時～17時 土日祝休	◆各事業部門の管理職や理事者と連携を取り、各事業を統括する。 ◆運営状況とその課題を集結し、リスクマネジメント。環境整備。総合窓口。 ◆日頃業務は、経理・人事の管理、文書作成(全社会議、理事会、総会、対外向け文書及び届出)および研修の企画運営。初の社員旅行を執行予定。	2019年、事務局の3大ミッション ① 説明責任 ▶内外の協力者・関係者への事業報告と、活動動向と理念を広く発信(リーフレット作成、SNS・Web発信) ② 法人情報の整備 ▶書類・データの整理整頓(情報ストックの再整備、資料提供) ③ 予算執行状況の進捗管理・役割分担 ▶全事業部門の経理統括と点検 Plan(計画)-Do(実施・実行)-Check(点検・評価)-Act(処置・改善)	受取会費 正/賛助会員年会費 160,000 受取寄付金 寄付金 800,000 受取助成金等 (申請せず) 0 経常収益計 960,000 人件費 法定福利費 279,000 福利厚生費 400,000 管理費 人件費 0 経常費用計 3,360,500 当期経常増減額 -2,400,500